



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2025/08/19

研究課題名	モルヒネ静脈内投与による患者自己調節性鎮痛に関する後ろ向き研究
研究の対象	2025 年 2 月から 2026 年 1 月までに当院でモルヒネ iv-PCA を施行された患者さん
研究目的・方法	モルヒネ静脈内投与による患者自己調節性鎮痛 (Patient Controlled Analgesia : PCA) は欧米では広く行われてきたが、日本ではフェンタニル静脈内投与 (iv) による PCA が一般的に行われていました。2025 年になってから、製薬企業の都合によりフェンタニルの供給が制限され、代替手段としてモルヒネ静脈内投与による PCA が広く行われるようになりました。持続時間が長く、効果に蓄積性が薬物動態の特徴からモルヒネ iv PCA ではベースとなる持続的投与は行われず、患者の意志による PCA のみで投与が行われます。従って、術後痛の程度、鎮痛の必要度がフェンタニルに比べてより明らかになりやすく、実際投与ゼロの患者の多い術式も見受けられるようになりました。このモルヒネ ivPCA の特徴を生かして術式別のモルヒネ投与量や投与頻度を解析することによって、より適切な術中管理、モルヒネ iv-PCA 以外の術後鎮痛法を明らかにしていくことが本研究の目的です。この研究を行うことにより、術式別により適切な術中管理、術後鎮痛法を明らかにする意義があると考えられます。 研究期間：許可日～2027 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	術式別のモルヒネ iv-PCA 有効投与量 術式別のモルヒネ iv-PCA 総試行回数 他の鎮痛薬使用状況 伝達麻酔の有無 嘔気、嘔吐 かゆみ その他の副作用 上記を、電子カルテから抽出します。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 研究責任者：田附興風会医学研究所北野病院 麻酔科 医員 足立健彦